

第1回 えりも町総合教育会議 会議録

(R2.10.12)

学校教育課長  
教育長

(会議の流れを説明し) 教育長の進行でお願いします。  
年に2回くらい、このような形での懇談を開催し、えりも町の教育向上のため、意見交換を進めたいと考える。

～1. 東洋小学校の後利用について～

教育長

東洋小学校の後利用については、先週、教育委員の皆さんに出席いただき、地域との懇談を行ったところ。

簡単に、これまでの経過について、課長から報告願いたい。

学校教育課長

(別紙資料に基づき、これまでの経過を説明し) 先週の懇談では、地域の防災の拠点的な「避難所」にできれば、との意見が出された。

町 長

東洋小学校は、オープンスペースを校舎に取り入れた、当時としては画期的な校舎。

まだ十分、使い方によっては使えると思うので、廃校になったからすぐ壊すというのではなく、何か違った形で活用できればとの思いがある。

体育館については、残してほしいという地域の声があることから、維持補修をしながら残していくことになるが、校舎は、給食施設もあることから、いろんな団体が町に来たときに、寝泊りしながら活用できないか、という思いがある。

しかし、それには、校舎の改修が必要で、それに見合った予算付けをしなければならない。

旅館関係との調整が難しいが、影響がない程度の宿泊ができる合宿所的な思いもあり、その辺を含めて今後の議論にしてほしい。

西川委員

先週の懇談の中で、これまでと違ったのは「避難所」という意見であった。

子どもたちが「防災マップ」を作って賞をもらったことに関心があり、避難所という意見が出てきたのか、と思う。

「避難所」という言葉をキーワードにして、何か合宿所に結びつくようなこととか、今後の国立公園の中にリンクするような形を構想できればと思う。

町 長

今、対応に困っているのが、20～30mの津波が来ると言われていること。

そうすると、どこに逃げようが避難所にはならないが、普通の津波の避難場所には十分なり得るので、避難所や合宿的なものに対応できるものにはなるはず。

廃校になったから放置するのではなく、何かしら、お金の掛り具合も違うが、再利用は必要と考えている。

嵯峨委員

合宿所としての機能をもてば、避難所にも対応できる。

合宿となると、春先が中心だが冬場の維持など、そういう準備をしなければならない。

体育館については、各地域でそれぞれ活用しているので、そのまま使えると思うし、校舎は広いので、何か備蓄しておくことに関しても場所はいくらでもあると思う。

合宿はスポーツや音楽の関係といった学生たちの使用が主である。

以前も、青少年会館に泊まって、温水プールでシャワーを使用していた。シャワー、調理室があれば、合宿には最適である。

町長

今、昆布クルーズが大変利用されていると聞く。

舟は2艘あり、岬と東洋から舟を出しているが、国立公園になって、利用者が増えていくことを考えれば、東洋から出るときに休憩するということも考えられ、いろいろな部分をつなげていけば、東洋の学校を活用する意味も生まれてくる。

## ～2. 学校プールの運営方法について～

西川委員

学校プールは、運営方法が一番課題になると考える。

「学校プール」なので、教育委員会の所管とならざるを得ないが、一般市民に開放するので「監視」を十分にし、事故につながらない体制が必要だが、経費をどうするか。学校プールなので有料にはできないと思うが。

町長

温水プールのときは無料だったが、1年通してとなると運営費が厳しいから100円でもとらないと、ということになる。

案では、開館は4か月を想定しているので、無料でいいのかなという思いである。

逆にお金をもらうとなると、受付に何人いるかという経費が出てくるし、無料であれば、監視員や受付も最小限で済むということになる。

その辺も含めて、これから教育委員会含めて協議していかなければならない。無料でいいとは思っている。

教育長

大新東と協議した中で、最終的に大新東でやるとなれば、かなり業務上のしぼりが出てくる。

このため、町の直営的なものにしなから、大新東に係わるところは係わっていただくという感じで、できるだけ経費節減を図りながら、と教育委員会では考えていたところで、曜日案については、今までのデータのなものから考えたもの。

田名部委員

町民の日々の運動や散歩などした後のクールダウンとして、プール利用や、簡易シャワーがあればシャワーの利用なども考えた方がいい。

～3. 庶野小学校に係る給食施設について～

教育長

庶野小の給食については、町の財政的なことにも係わるが、委員会としては、早ければ令和5年度の開始に向け、準備したいと考えている。

当初は、東洋小の給食施設を利用して、と考えていたが、将来的なことを見据えて、町長の最終的な決断で、今のところ、えりも小学校の給食施設を改修してやろうということになっている。

町長

最初は、案がいろいろあったが、子どもの数が減少し、将来、小学校が一つになる可能性があるのでは、という思いもあり、このように想定したものである。

時期的なことなどについては、町の財政を見ながら決定していきたい。

西川委員

今後、4、5年で子どもの数が激減する。

東洋が閉校、次は笛舞・・・

行く行くは、えりも高校の存続方法にもつながること。

これらは、今後の大きな検討課題である。

※ その他として、町長から、光の園幼稚園の状況（町有地の借上げなど）について情報提供があった。